

発行 猪名川町役場町長公室 〒666-02 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畠11の1

ほしい情報届いていますか—広報紙は毎月1日・15日に発行

## 防災シンポジウムで不安を一掃

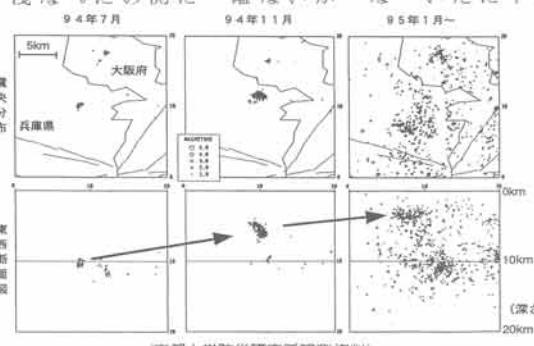


京都大学防災研究所の安藤雅孝教授による群発地震の基調講演

### 震源が浅いとどうなるの?

下の図は、猪名川町付近の地震活動(上が平面、下が断面)です。一年の七月頃に十キロメートルの深さに起きた数日続いた震源の教訓を生かして家庭や地域で防災対策に取り組もうと実施しました。

京都大学防災研究所の安藤雅孝教授が基調講演を行い、その後、黒田ジャーナル代表の黒田清さん、安藤教授、芦屋市消防長の鈴木恵太郎さんによるパネルディスカッション(二面に掲載)を行いました。



(京都大学防災研究所観測資料)

### 群発地震が続いても



3月23日(土)12時30分開館

建物の周辺には

☆つづじや桂を植樹、中庭の石庭や駐車場を整備中。

猪名川町の群発地震は、かなり深いところから上がってきており、地下水が原因だと考えています。水(地盤)が密接な関係にあることは、昔からいわれていました。地震は壊れて滑るもので、しかし、地球の中はつぶれるような

京大防災研 安藤教授が講演



**ボーリング調査**  
通産省の地質調査所が広根地区で千枚のボーリング調査を実施

一月二十日、イナホールで防災シンポジウムを開催しました。落ち着きを見ていた群発地震が再び活発化する中、住民一人ひとりが昨年の阪神・淡路大地震の教訓を生かして家庭や地域で防災対策に取り組もうと実施しました。

京都大学防災研究所の安藤雅孝教授が基調講演を行い、その後、黒田ジャーナル代表の黒田清さん、安藤教授、芦屋市消防長の鈴木恵太郎さんによるパネルディスカッション(二面に掲載)を行いました。

水が入ると一面と面がゆるみ滑りやすくなり地震が起る」と考えられました。

### 活断層の心配は

活断層は地面の中の傷で、この傷が動くと地震になります。多くの場合には既に傷ができるています。

猪名川町の直下には、大きな活断層ではなく、あるとしても大変小さなものです。ただし、少し離れたところに有馬高架橋造線や山崎断層など活断層がありますので、これが動いたときにどんな被害が起るかを考えておくことが大切です。

が明らかにならざるのではな

### 活断層の心配は

私は昨日、猪名川町で群発地震が起きてからいろいろ観測をしていました。その後、群発地震は減って地震計でもほとんど記録でいません。目的は、本当に地下を

上がってきた水が原因なのかを

### 大きな地震は起こらない

探るためです。この周辺は地震を

方しかできないのです。

滑るために摩擦が動き、摩擦

に勝たないと滑ることが

できないのです。

です。ただ地球の中は、面と面

がしきりとうつづいており、動

きようにも動けない。そこに少し

水が入ると一面と面がゆるみ滑りや

すくなり地震が起る」と考えられ

ました。

きました。

が起つているか、何が進んで

いるか調べようという計画です。

これによつて、猪名川群発地震が

なぜここに起きたのかという原因

が明らかにならざるのではない

かと思っています。

私たちには地震予知を研究して

いますが、現在のところ今日明日

のことを言えるまで科学のもの

が進んでいません。ただ、地震予

知という目標をもつて研究して

いるので、地震が何であるか、地下

で何が起つっているかを理解しよ

うとしています。

猪名川町のように、群発地震が

起きつてゐる場所はむしろ安全と

いえますか、水が原因である限り

今後も震度4程度の地震は続くと

思われます。ただし、猪名川町の

場合は長い時間揺れるわけではな

いので、そんなに大きな被害が起

る心配はないと思います。

## 猪名川群発地震の今後

### 群発地震の今後

### 現在の準備内容

開館へ向け秒読み開始



## ガドMAP

いながわ特派員  
とびつきり報告

## 戸隠神社

▷肝川字西ノ前136  
△国指定重要文化財



## 静寂の社

肝川田園地帯の杉木立に、  
清楚な社。40段の石段を登る  
と小さないながらも、本殿は400  
年の歴史を感じる社がある。



## 静思館

▷上野字町廻り22 (休館日=毎週月曜日、祝日)  
△問い合わせ 総務課 66-8707



## 壯厳な館

苔むしたカヤ葺屋根からしたたる露。リンとした冷気の茶室。すべて郷愁をそそる。



## DAY TRIP

## 猪名川ふらり旅



糸寒天  
△牛乳かん、和菓子などに使用  
△下阿古谷字西田 44  
△問い合わせ 井谷宅 66-1  
0333

寒天の里  
阿古谷

嚴寒の猪名川町、春を待ちわびる樹木、はりつめた空氣、寒いけれど美しいものでした。  
そんな息づかいを感じ、もっと冬を眺めに出かけませんか。

「カメラ片手に  
ぶらり…」

「猪名川町って狭いようで案外広い」が実感だった。車で肝川の戸隠神社へ。そして県道を北へ走り、静思館へ着いたのは三十分後。ゆっくり館内を見学した後、一路阿古谷へ。冬の風物詩、寒天千しを力もうに収めた。車は県道にもどり、北田原のマス釣り場で釣り人との会話を聞きながら川べりを散策。大阪からの釣り人は、朝七時頃から釣り始め、三十枚位の二ジマズ五匹。少し小雨混じりで吐き気が無い。まだ北へ行くと、あまり釣り場もあるや聞かず、車を走らせた。

△問い合わせ  
あまご釣り  
西野井沢  
△問い合わせ  
あまご会 (66-0333)

## 清流に誘われて

まだあまり知られていない穴場の釣り場。猪名川の上流とあって水もきれい。



## マス釣り

△問い合わせ 猪名川上流漁業組合北田原支部 (66-2208)

## 寒さ忘れる快感

今流行のルアーやフライフィッシングが楽しめる。目の前で何人かがマスを釣り上げていた。



## いい湯だなあ

猪名川町に意外と温泉がある。有馬と同じ鉱泉。効能は、神經痛、筋肉痛ほか。

△杉生字奥山1-22  
△利用 (休憩・宿泊) 要予約  
△問い合わせ 69-0485



## 猪名川サーキット

▷清水字前谷72-1  
△問い合わせ 69-0193

## 風をきてGO!

関西では1、2を争う広いサーキット場。ヘルメットをかぶりカートに乗ると、気分はF1レーサー。

